

昭和八年十月二日午前九時
土佐堀青年會 縮

大會順序

- 一 開會、拜
- 一 總同盟歌合唱
- 一 議長、挨拶
- 一 書記、任命
- 一 副議長、選定
- 一 各種委員、任命
- 一 收狀、報告
- 一 祝辭、祝電
- 一 各種委員會報告
- 一 議案審議
- 一 役員改選
- 一 新役員挨拶
- 一 閉會、拜

日本勞働總同盟綱領

一 我等は同明相愛の理想に會ひ識見の開き
技術の進歩徳性の涵養を圖リ以て自己
の向上と完成を期す。
一 我等は勞働者の自主的組織と訓練により
勞働條件の維持改善並に共同福利の増
進を期す。
一 我等は国情に立脚し資本主義の根本的
改革を圖リ以て健全なる新社會の建設を
期す。

卷頭言



我等は茲に第十三回大會を迎へることになった
前年度大會より一々年間の業績を顧み過
去にヒリ來つた運動より一歩進めて資質なる闘争の樹立であつた
即ち日本資本主義の刺激濟であるインフレーション政策の強
行は物價の吊リ上ツトとなり、貸銀値上の闘争が巻き起され
之に對し我等は我組合の方針、即ち交渉に依つて有利なる
解決の成績を挙げ得たのは我組合の健實なる運動方針と相
手方工場主をして徹底せしめたからである。
本年度に於て団体協約は新に六工場に成立を見た。勿論
団体協約は我組合の根本方針であるが、今後益々各工場
に協約の締結が促進されることを確信するものである。
來る可き一々年間の想いに資本主義機構は幾多の矛盾を